

総論 The SUISHIN

国際ビジネス展開支援への取り組み

そ お か わ ひ さ た か
曾小川 久貴

(公社)日本下水道協会
理事長
下水道グローバルセンター
センター長



1 はじめに

本年度、創設50周年を迎えた(公社)日本下水道協会における本格的な国際活動は、米国水質汚濁防止連盟(現在の米国水環境連盟(WEF))機関紙(昭和55年5月号)に日本特集の記事編纂の目的で、国際委員会が設置されたことを起源としている。その後も、北米や欧州の下水道関係組織とセミナーやワークショップの開催等、活発に交流を続けてきたが、その主たる目的は技術交流に留まっていた。しかしながら、2000年の国連ミレニアム宣言等で示さ

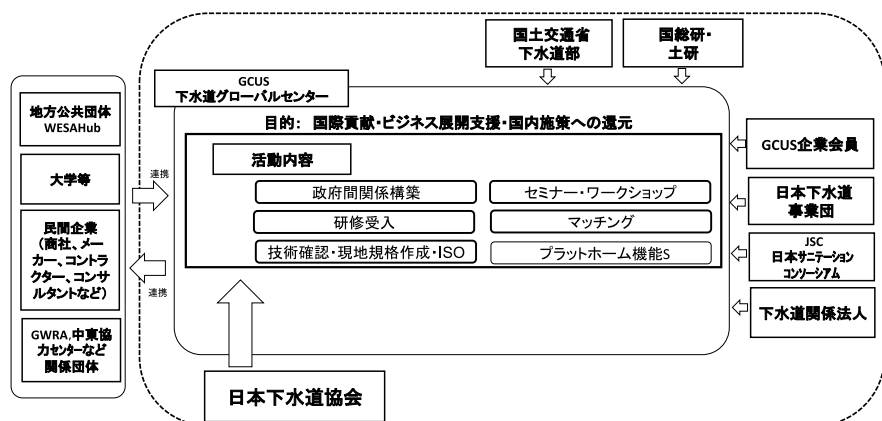
れたミレニアム開発目標(MDGs)の一つに、「環境の持続可能性の確保：安全な飲料水と衛生施設の利用できない人口の割合を半減する」との目標が掲げられたことなどを契機として俄かに、水ビジネスが注目されることになった。世界の水ビジネス市場の規模は、2007年の36兆円から、2025年には87兆円(2.42倍)との試算もあり、新成長戦略(20014年)では上下水道インフラ輸出が柱の一つとして位置付けられた。また、これらの動きに呼応する形で地方公共団体は、蓄積してきた下水道の経営・管理のノウハウをもと

に、国際活動を活発化させることとなった。なお、我が国ODA援助額のうち「水と衛生分野」が78%を占め、我が国は本分野における世界第1位の援助国となっている。

協会の国際活動は、下水道に関する海外からの情報収集および海外への情報発信を通じて、国内事業の活性化を図ることを主たる目的としてきたが、世界的な下水道を取り巻く環境変化を受け、世界中に持続可能な下水道システムを普及させるため、国際貢献、海外水ビジネス支援、国内への下水道施策への還元を柱に、2009年「下水道グローバルセンター(以下、GCUS)」を設置・支援することとした。GCUSの事務局は国土交通省および下水道協会が務めている。

2 GCUSの活動

GCUSは、下水道分野の国際協力活動および国際交流活動を支援するため設立されたコンソーシアムであるが、GCUS活動を広義にとらえて、我が国の下水道界(国、地方公共団体、社団・財団法人、民間企業等)がチーム日本として活動する、国際展開のプラットフォーム



下水道グローバルセンター(GCUS)：国土交通省及び日本下水道協会が事務局となり、国土交通省、下水道関係法人10団体、企業会員30社、地方公共団体等16団体、土木研究所の計57団体がコンソーシアムを形成

図-1 国際活動に占めるGCUS活動の位置づけ

表－1 平成25・26年度に出展した海外展示会

国名	展示会名	時期
インドネシア	INDOWATER 2013 (水に関する総合展示会)	平成25年7月
韓国	IWA-Aspire 2013 (国際水協会-アジア太平洋地域会議)	平成25年9月
米国	WEFTEC 2013 (米国水環境連盟-展示会・会議)	平成25年10月
サウジアラビア	SWPF 2014 (サウジアラビア水電力フォーラム)	平成25年12月
UAE	IWS 2014 (第2回国際水サミット)	平成26年1月
ドイツ	IFAT2014 (上下水道、廃棄物に関する総合展示会)	平成26年5月
シンガポール	SIWW2014 (シンガポール国際水週間)	平成26年6月
ポルトガル	IWA世界会議リスボン	平成26年9月
ミャンマー	Myanwater2014 (水に関する総合展示会)	平成26年12月
ベトナム	VIETCONSTECH (建設技術国際展示会)	平成26年12月



写真－1 シンガポール国際水週間2014出展

(図－1)としての役割を有している。

以下に、平成25年度および26年度に行ったGCUSの活動状況を紹介します。なお、これらの活動状況については、当協会HP「下水道グローバルセンター(GCUS)」や協会誌で適時報告しているので、ご参照頂きたい。また、当協会HPのGCUS会員版サイトでは、当協

会発行の設計指針など本邦技術関係資料の英訳版のほか、収集した海外の下水道情報を掲載しているので、併せてご参照頂きたい。

2.1 海外向けの情報発信

(1) 海外展示会への出展

表－1のとおり、海外の水関係展

示会にGCUSブースを出展し、日本の下水道技術関連情報の発信とともに、GCUS会員企業に代わり各企業の技術・製品を直接アピール・支援している。ブースではパネルやパンフレットの配布に加え、映像機器などを駆使して、来場者に理解促進に努めている(写真－1)。

(2) GCUSセミナーと

ビジネスマッチングの開催

表－2のとおり、海外政府関係者または国内援助機関関係者等を講師に招き、GCUS会員(民間企業、地方公共団体)に対象にセミナーや意見交換会を開催し、情報提供を行うとともに、表－3のとおり、海外政府下水道関係者等の来日機会をとらえ、招聘者等と連携してビジネスマッチングの機会を提供している(写真－2)。

表－2 平成25・26年度 JSWA-GCUSセミナー

テーマ	講師	時期
中国南部の水環境事情	(独)土木研究所 岡本誠一郎氏	平成25年6月
政府開発援助における下水道事業	(独)国際協力機構 内藤初夏氏	平成25年9月
・モンゴル国下水・環境事業 ・モンゴル国中央下水処理場改善事業	・建設・都市計画省・建設開発センター オンドラハ氏 ・(独)国際協力機構 内藤初夏氏	平成26年1月
ベトナム国ホーチミン市の 下水道事業について	大阪市 濱田 哲也氏	平成26年2月
モンゴル国における下水道事情	元JICAシニアボランティア 宮本晶夫氏	平成26年6月
インド国における下水道事情	国土交通省国土技術政策総合研究所 下水道研究官 榊原隆氏	平成26年9月
ホーチミン市技術協力プロジェクト 等について	大阪市 松浦正治氏 大阪市 藤田武士氏	平成26年9月
世界のMBRの現況と今後の展望	(株)日水コン事業統括本部技師長 村上孝雄氏	平成26年11月

表－3 平成25・26年度 海外下水道関係者とのビジネスマッチング

国名	関係機関・関係者	時期
バーレーン	バーレーン国公共事業省 アルハワジ局長	平成25年11月
カンボジア	カンボジア国公共事業運輸省 ヘン部長ほか	平成26年1月
イラク	イラク地域自治・観光省上下水道総局 ハッサン副総局長ほか	平成26年2月
ベトナム	ベトナム国建設省技術インフラ局副局長ほか	平成26年2月
モンゴル	モンゴル国建設都市計画省 バトチメグ氏ほか	平成26年3月
ブラジル	ブラジル衛生公社投資局長 ジョアン・マルティニョ氏	平成26年4月
スリランカ	スリランカ上下水道省局長 サラス・チャンドラシリ・ヴィアナ氏他	平成26年8月
カンボジア	カンボジア政府公共事業運輸省公共事業総局副局長 ボン・ピセ氏	平成26年10月



写真－2 APO(アジア生産性機構)招聘の14ヵ国21名のアジアの政府・自治体等の幹部とのビジネスマッチング